

# 新寝屋川八景を訪ねる散策コース

## 石宝殿コース

古墳をめぐる寝屋川公園で憩う

木漏れ日あふれる憩いの場



府営 寝屋川公園

裏面地図★印の場所には、写真のようなルートサイン(説明や地図板のついた石碑)があります。八景を巡って、様々な表情の鉢かづき姫を、探してみてください。

★スタート★



★ゴール★

～コース外にもあります～



道順や各所の詳細については寝屋川市のホームページをご覧ください。(右側のQRコードからアクセスできます)

※QRコードは㈱デンソーウェーブの登録商標です。



※掲載内容は、2024年12月時点のものです。

## 1 市立埋蔵文化財資料館 まいぞうぶんかざいしりょうかん

昭和56年、JR東寝屋川駅(現寝屋川公園駅)前の寝屋川東ファミリータウン中1番館の一角に開設された北河内地域最初の文化財展示施設です。市内の遺跡から見つかった土器・石器・木製品等の考古資料をテーマごとに展示しています。常設で展示している高宮八丁遺跡出土貯蔵穴(弥生時代)と長保寺遺跡出土古代船(古墳時代)は、市指定文化財です。



## 2 打上公園 うちあげこうえん



## 3 打上(高良)神社 うちあげ(こうら)じんじや

打上(高良)神社は、寝屋川市内で最も高い標高約100mのところにあります。この神社の裏山の北東斜面にはシイの自然林がうっそうと茂り、斜面下の吉野池に影を映しています。ここに見られるシイはツブラシイという種類で、大きいものは高さ20m・周囲約3m・樹齢は350年と推定されています。また、西側の高台に登ると、見晴らしが良く、市内が一望できます。



### ☆絶景ビュースポット☆

天気の良い日は大阪市内のビル群がよく見えます!



## 4 石宝殿古墳 いしのほうでんこふん

打上神社南側奥の山腹に所在する7世紀中頃に築かれた古墳です。現在は盛土部分がなくなり棺を収める横口式石槨が露出しています。北河内地域では唯一の古墳時代終末期の石槨墳です。巨大な石材の運搬や精緻な加工には、多くの労働力や高度な技術が必要とされ、この古墳に葬られた人は広く北河内地域を治めた有力者だったと想像されます。全国に3例しか知られていない珍しい形状の石槨をもつ古墳として、国指定史跡となっています。



## 5 明光寺 みょうこうじ

明光寺はもとは天台宗でしたが、永禄7年(1156)に浄土宗にかわったと伝えられています。その山門横には、市指定文化財の雷神石が建てられています。正面の中央に「天照山」「天下和順日月清明」とあり、右に「檀家安全子孫繁」とあり、左に「伽藍常栄興仏法」と刻まれています。また右側面には年号が刻まれており、弘治3年(1557)に製作されたことがわかります。全体の形状やその材質が「竜山石」を利用していることから、付近にあった古墳時代(6世紀)の古墳に納められた石棺が再利用されたものと推定されています。また、境内には同じく市指定文化財の弘治3年(1557)の銘を持つ十三仏板碑が安置されています。



雷神石



十三仏板碑

## 6 打上の弘法井戸 うちあげのこうぼういど

平安京から高野山への参詣道として利用された、東高野街道の道端にある小さな井戸(清水)です。地元では弘法井戸と呼ばれており、脇に「弘法観念水」と刻まれた小さな石柱が建てられています。この井戸は、日照りが続いても涸れることがなかったと伝えられています。かつて東高野街道を往来した人々の、のどの渇きをいやした姿が想像されます。



## 7 府営寝屋川公園 ねやがわこうえん

新寝屋川八景

本市東部の丘陵上に所在する、豊かな緑に囲まれた公園です。噴水のある中央広場をはじめ芝生広場・ふれあいの丘のほか、ソフトボール広場・テニスコート・陸上競技場・野球場などがある総合運動公園です。花の道や月観橋・花のテラスといった散策を楽しめるスポットも多くあります。平成21年1月に新寝屋川八景に選ばれました。



## 8 寝屋古墳 ねやこふん

寝屋川公園の一角に所在する、横穴式石室をもつ古墳です。巨石を利用した立派な石室で、現在南向きに開口して見えるのは奥の墓室(玄室)部分で、手前の通路(羨道)部分は破壊され埋まっています。埋まっている部分を含めると、全長は10m前後に復元できます。石室の発掘調査が行われておらず、築造された時期は不明ですが、古墳時代後期(6世紀末)に築かれたと考えられます。北河内地域最大規模の横穴式石室をもつ古墳ということで、府指定史跡となっています。



## 9 四ツ辻 よつつじ

打上の四ツ辻は、南北に通る東高野街道と東西を通る奈良伊勢道の交わるところです。ここに立つ道標には「東ならいせみち」「南かうやのさき大坂みち」「北京八はた柳谷星田妙見道」と刻まれています。伊勢神宮・高野山・柳谷観音などにお参りする聖や善男善女を案内したことが想像できます。また、東西に「安政 四巳正月 為父母 施主酒勤」と刻まれており、この道標は、安政4年(1857)に酒屋の勤兵衛さんが父母の為に建立したことがわかります。



# 新寝屋川八景を巡る散策コース 石宝殿コース

市東部丘陵の静かな森の中にたたずむ石宝殿古墳や寝屋川公園内にある寝屋古墳。豊かな自然の中を散策しながら、古代ロマンをたっぷり満喫できます。

■距離：約4km ■所要時間：約1.5時間

スタート：JR寝屋川公園駅（東口）

0.1km/2分 ※距離・所要時間は目安です。

## 1 市立埋蔵文化財資料館

0.5km/9分

## 2 打上公園

0.25km/5分 ★休憩 ベンチあり

## 3 打上(高良)神社

0.2km/5分

## 4 石宝殿古墳 ◆国指定史跡

0.4km/8分

## 5 明光寺 ◆市指定文化財：雷神石・十三仏板碑

0.5km/9分

## 6 打上の弘法井戸

0.4km/7分

## 7 府営寝屋川公園 新寝屋川八景

0.5km/9分 ★休憩 ベンチ・WCあり

## 8 寝屋古墳 ◆府指定史跡

0.9km/15分

## 9 四ツ辻

0.08km/1分

ゴール：JR寝屋川公園駅（東口）

発行：寝屋川市文化スポーツ室



★印の場所には、鉢かづき姫をモチーフにしたルートサインがあります。

さらに小高い丘に登ると絶景眺望が！